

# JA 全農いばらき 家畜市場通信 No. 1

～生産者と購買者をつなぐ架け橋になります～

発行責任者：常陸大宮市鷹巣 全農茨城県本部家畜市場所長

皆様、新年おめでとうございます。

平成 30 年全農茨城県本部家畜市場初セリが、多数の購買者、

ご来賓の皆様にご出席頂き盛大に開催出来ます事、心よりお礼

申し上げます。当市場は皆様のご支援により開設以来 29 年目を迎え、

338 回目の市場開催となりました。昨年の取引頭数は、1 9 4 1 頭、平均価格は約 7 7 万円/頭と、繁殖農家戸数の廃業等により生産頭数減少し生産基盤が弱体化する中、子牛相場は一昨年に続き高止まりしており、肥育経営を圧迫する現状が続いています。



JA 全農いばらきは、畜産農家経営を持続可能な畜産生産・畜産経営の取り組みを通じ、自己改革を成し遂げるため、昨年来から皆様のご意見を反映した畜産事業改革に着手いたしました。平成 2 8 年に茨城県、関係団体と協議し策定した和子牛生産体制強化、1 0 年後の和牛生産グランドデザインを基に、当県本部哺育センターにて和牛繁殖事業を開始し、肥育生産者への素牛安定供給体制強化を目指してまいります。

家畜市場におきましては、茨城県の銘柄牛でもあります「常陸牛」の素牛供給拠点として信頼される市場となるため、出荷者ともども、さらなる品質の向上を図る努力をしております。本年も、生産者・JA・県・関係団体と一体となって取り組めますので、より一層のご購買をお願いいたしますとともに、本日までご出席の皆様方のご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げまして、主催者を代表いたしましてのご挨拶と致します。

平成 30 年 1 月 14 日

全農茨城県本部

県本部長 川津 修

# ～全農いばらき家畜市場改革スタート！～

## 1. 哺育センター和子牛繁殖事業

平成29年11月に第1号、2号となる和子牛（雌）、平成30年1月に第3号（雌）が誕生し、今後の和子牛安定供給、「常陸牛」など県内和牛増頭を図ります。

現在、繁殖雌牛35頭を飼養しており、今後は100頭規模を目標に事業展開します。



## 2. 和子牛早期引取り事業

県内の契約農家から ET 受精卵移植により出生した2か月齢までの和子牛を同センターに引き取り飼養管理する「ET 和子牛契約生産事業」を実施し、生産者の飼育負担軽減を図るとともに、家畜市場から県内肥育生産者への安定供給する仕組みを構築します。

## 3. 繁殖牛の牛白血病ウィルス（BLV）清浄化モデル事業

県家畜保健衛生検査所と連携し、繁殖候補牛の BLV 抗体保有検査を実施し、抗体フリー化による和子牛生産供給体制を構築し安心・信頼の流通モデル事業を実施します。

## 4. 「家畜市場子牛セリ成績」

	年間平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
29年度 平均単価	771,559	858,525	770,295	825,103	736,306	723,091	763,856	715,126	727,162	824,567
去勢	842,775	932,342	875,674	895,153	812,715	766,252	827,885	793,670	809,739	871,547
雌	669,526	720,117	632,372	731,262	650,038	635,534	665,853	606,320	641,636	742,603